

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・https://hikaku-osaka.jp/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp



第207号 2022年1月1日

ニュース

核禁条約に参加し、
 憲法9条を守る非核の
 “国際社会において
 名誉ある地位を占める”

政府を!

迎春



事務局長 豊島達哉

2017年7月7日に採択された核兵器禁止条約は、2020年10月24日、批准国が50カ国に達し昨年1月22日に発効されました。今年はこの条約の締約国会議が3月にウィーンで行われます。

また COVID-19の世界的流行により延び延びとなっているNPT再検討会議も今月に開催される予定となっています。今年は核兵器廃絶の運動において大きな契機となる年で

す。

核兵器禁止条約の締約国会議は条約非締約国や非政府機関のオブザーバー参加が認められており、既にノルウェイ、ドイツ、スイス、スウェーデン、フィンランド等がオブザーバー参加を表明しています。とりわけノルウェイ・ドイツはNATO加盟国であり、米国の核の傘の下にある国家です。そして特にドイツはG7の一員としてNATOの中核であり、国内には米戦術核兵器が配備されているアメリカの重要な軍事同盟国です。このようなドイツがオブザーバーとはいえ、締約国会議に

参加することは、核兵器廃絶の国際議論を進める上で重要な役割を果たすことでしよう。

しかし本来、核兵器廃絶に向けた国際的議論を主導すべきは、日本であるはずですが、にもかかわらず日本政府は核兵器禁止条約への参加も、オブザーバーとしての参加さえもしようとしません。

岸田首相は「核なき世界」を目指す口にはしますが、その具体的方策を語ろうとはしません。米国の核の傘の下にあることが、オブザーバー参加の障害にならないことはノルウェイやドイツが明らかにしました。遅ればせながらでも唯一の戦争被爆国であり、かつアメリカの核の傘の下にある日本がオブザーバー参加し核兵器廃絶のメッセージを発信するならば、計り知れない波及効果が期待できます。日本は、核廃絶に努めている国際社会において名誉ある地位を占めることが可能な

はずですが。過ちを改むるにしくはなし。広島一区(原爆ドームや平和記念公園所在)を選挙区とする岸田首相であるならば、今すぐにもオブザーバー参加を決断すべきではないでしょうか。

私たち非核の政府を求める大阪の会は、政府に対し、核兵器禁止条約への参加、最低限でもオブザーバー参加を強く求めるものです。また今年行われる参議院選挙では、核兵器廃絶を実現する政府をもとめる主権者として多くの方々が適切な選択を行っていただくよう呼びかけ、年頭のご挨拶とします。



【非核五項目】

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する



交流会

非核の政府を 求める会近畿



▲近畿各府県発行の機関紙

非核の会近畿交流会が12月1日に大阪の会内で開催されました。コロナ禍のもとで、昨年は開催できませんでしたでしたが、各府県の活動報告をオンラインなど中心に交流がおこなわれました。各府県ともに会議の開催ができない苦労のなかで、可能なとりくみがおこなわれました。閉会のあいさつをされた京都の会の長谷川長昭氏(22年度開催県)は、非核の会ならではの機関紙



ニュース、ホームページなどの発信の重要性を強調されました。近畿交流会の第2部の記念講演は、大阪の会の常任世話人でフリージャーナリスト西谷文和氏から「テロとの戦いは完全失敗 アフガン戦争20年を振り返る」アフガン・シリアから見た憲法9条」と題して豊富な映像資料を屈指してのお話でした。米国は報復のためテロ組織の温床とされたタリバン支配下のアフガンに侵攻し壊滅作戦を展開。あれから20年、制圧したはずのタリバンが再び政権の座に復活し、米軍



部隊は本国へ敗走しました。ベトナム戦争時の敗走の姿を想起しました。米国がこの20年間に戦争のために投じた8兆ドル(880兆円)。一方、中村哲氏らは「水で戻せば争わない」と治水灌漑にとりくみ、2010年に砂漠だった土地が10年後には緑豊かな森になって、住民の生活は安定し、治安は維持されています。要した費用は20億円。平和外交施策の重要性を指摘されます。さらにお話しは今秋

の総選挙にも及び、『自公の罪・維新の毒』(西谷氏の近著)を熱く語られました。野党共闘は決して失敗したのではなく、不十分で遅すぎた、と指摘。かつて民主党政権を作った人々が失望して投票に行かなかつた、その人たちが投票に行く世になったら、またマスコミ操作による維新への幻想がなくなったら、非核の政府の実現も見えてきます、と方向性を指摘されます。近畿交流会の参加者はリモートも含めて40名でした。

参加者からの感想がよせられました。◇2年振りに西谷さんのお話を聴くことができ、大変喜んでおります。アフガニスタンの悲惨な現実を見て、なぜ、なぜ、この真実を日本のマスコミは報道しないのか！怒りです。インジン吉村、雨ガツパ松井、そして2万%ありえない橋下、の3バカの知性のなさを、もっともっと皆に知ら

せたいです。(Y・K) ◇土曜日はお世話さまでした。ZOOMでも画面鮮明でした。西谷さんの貴重な現地取材を元にしたご講演はいつも勉強させてもらっています。戦争やテロに費やされたばく大な金と尊い命の損失に比べ、改めて中村哲先生の用水路建設活動は後世に繋がる偉大な事業だったと感慨無量です。この度の新型コロナウイルス感染症でも生命維持に不可欠な水の活用が役立ったと思います。(A・H)

◇11月14日の日曜日に寝屋川の「非核平和のための戦争展」主催の西谷さん講演会にもいきましました。同じ話と予想していたけど、元氣と確信をもう一度貰いたくて、行きました。以前からYouTubeで、西谷さんの「路上のラジオ」を聞いていたし、会って中村哲さん襲撃が、米CIAと予想していたので、その質問もしたかったし、イラクの子どもを救う

会への募金もしたいと思っていました。講演後に本とDVDを買って求め、若干のキャンペーンも渡せて目的を果たせました。私は、彼が、ノーベル平和賞を受けると兵器産業で収益をあげているアメリカにとっては、都合悪くなるので、はっきりとした目的を以って、中村さんを暗殺したと思っています。これからも、「路上のラジオ」を聞き、多角的な情報を得たいと思います。(S・M)

戦跡

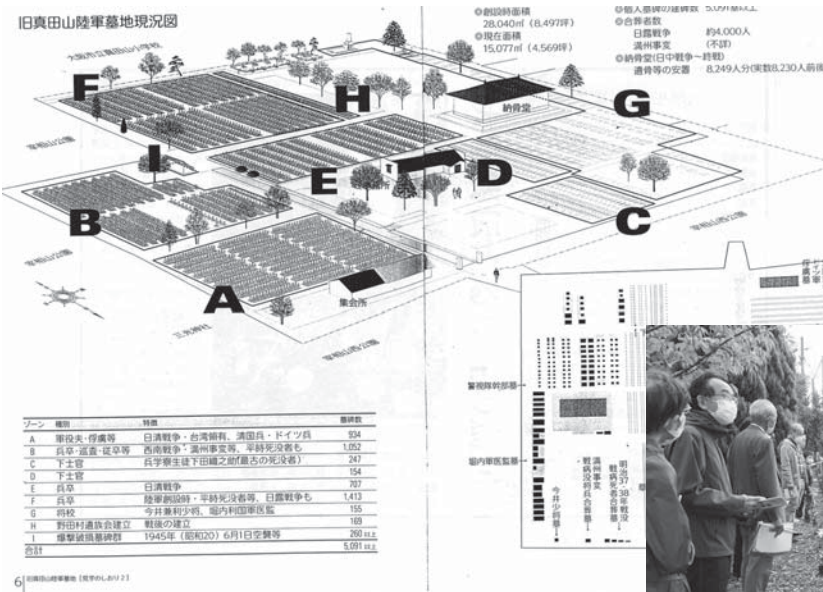
森田先生と行く
真田山旧陸軍墓地をたずねて

わが国最初に設けられた陸軍墓地が大阪市内玉造に昔の姿をほぼとどめて静かに眠っています。そこに眠っている数多くの墓碑は、私たちに戦争とは何だったのかと問いかけてきます。NPO法人旧真田山陸軍墓地とその



保存を考える会の吉岡武氏の丁寧な説明と墓地内の墓標の案内をしていただきました。

真田山陸軍墓地の成り立ちは、明治10年西南戦争で傷つき同地に開設された陸軍臨時病院で死亡者された兵士を埋葬したことからスタートします。日清戦争では中国(清国)兵捕虜を埋葬、第一次世界大戦で敵国のドイツ兵俘虜の病死者も埋葬、日露戦後争戦病死者の合奏墓標を階級別に4基建立します。死亡後も階級差を明示します。1945年6月



1日には米軍の空襲で真田山陸軍墓地も被災しました。同墓地に隣接する三光神社に残る方柱の鳥居はその傷跡です。1945年8月15日終戦の日に大阪憲兵隊は捕虜となっていた米兵5名をこの地で殺害し埋めるといった悲しい歴史の場でもあります。普段は閉じられている納骨堂の内



部まで案内され、貴重な体験をしました。小学生を含めて17名の参加でした。



▲墓地内にある納骨堂(右手扉の奥には多くの骨壺が並んでいました)

新常任
世話人の
紹介

日本共産党大阪府委員会常任委員
大西淳子

あけましておめでとうございます。

日本共産党大阪府委員会、政策や自治体関係の部署で仕事をしています。

総選挙直後から吹く「改憲」風に大きな危機感を覚えます。末っ子がようやく今年成人式を迎える3人の息子が、銃を持たされた「戦争は嫌」と言えない国には絶対にさせない——そのために全力

を尽くしたい。平和への想いの原点は、絵本『わたしがちいさかったときに』(長田新著・挿絵・岩崎ひろ)です。当たり前の日常が一瞬にして奪われた子どもたちの文章が、小学生だった私の胸に入り込み、「なぜこんなものを人間の上に落としたの?」という疑問になって残り続けました。

その後民青で「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名に取り組みました。当時米ソの核軍拡競争で世界に5万発もの核兵器が配備されていた時代。「廃絶なんて理想論だ」の声も出され大いに議論

したものです。それでも、一筆一筆の署名が必ず世界を動かす力になると信じて行動した日々から約30年後。「核兵器禁止条約」が採択された2017年7月7日は、忘れられない日となりました。被爆した子どもたちの鋭い眼差しが、今なお批准を拒否する被爆国日本の政府に向けられています。平和を願う小さな行動の積み重ねがやがては世界を動かすという確信をもち、これからも取り組んでいきたいと思えます。



シリーズ 大阪における国民平和行進の歩み

④統一行動の原則が確立された60年代前半の平和行進

選挙が終わった途端 憲法の改悪を声高に主張する政治勢力、違いは違いとして認めつつ、一致する課題での共同行動の重要性が求められていきます。原水爆禁止運動の歴史はそのことを如実に示しています。

*61年の平和行進：安保後の統一破壊の策動

1961年は、60年安保闘争の国民的な運動と原水爆禁止運動において延べ2200万人が参加した国民平和行進の運動の広がりは米日反動勢力にとつては脅威となりました。核密約を結びながら「事前協議制」などのごまかしで世論をおさえつつ、「ケネディ・ライシャワー路線」で労働者・文化人を懐柔する策動を強めていきました。また、中国とソ



連の間で「中ソ論争」が激化し、世界平和運動の内部でも意見対立が表面化していきまし

こうした国内外の情勢のもとでさまざまな分裂が持ち込まれてきます。これまでの「政治偏向」と「反共攻撃」に加えて第7回原水爆禁止世界大会では一部代表から原水爆禁止運動と基地反対のたかいたの分離を主張し、大会後、社会党・総評などが日本原水協執行部不信任の共同声明をだします。

このような内外の分裂策動のなかで「軍備全廃・核武装阻止・被爆者救援・原水爆禁止国民平和行進」が6月14日、広島など全国

4コース8か所から平和行進が出発します。

大阪への平和行進は沖繩(6月4日出発)から東海道コースを7月4日兵庫県

より池田市で引継ぎ、7月7日まで府下5コースにわかれて行進しました。7月5日池田

↓中之島(歓迎集会)
↓7月6日大阪↓柏原
↓7月7日柏原↓奈良

泉州コースは7月4日泉佐野↓泉大津7月5日↓中之島(メインコース合流)

河内長野コースは7月4日河内長野↓松原7月5日↓中之島(メインコース合流)

枚方コースは7月5日枚方↓中之島(メインコース合流)

高槻コースは7月5日高槻↓中之島(メインコース合流)

61年の平和行進は青年の創意工夫した感覚を取り入れることを



▲7月5日池田市を行進

位置付け、登山グループやキャンプ・グループにも呼びかけ、労働組合の青年の参加、自転車・単車による参加

などが取り込まれました。中心的作用を果たしたのは、地域原水協、平和を守る会、民青であった。

*62年の平和行進：「網の目行進」としての国民平和行進を展開

1962年は、キューバ危機がおこり、世界は核戦争一歩手前の恐怖に直面します。核戦争阻止・核兵器完全禁止が緊急性をましています。原水爆禁止運動の強化、統一と団結が強く求められる情勢でした。ところが、原水爆禁止運動には逆に分裂が持ち込まれま

す。前年の11月には「核兵器禁止平和建設国民会議(核禁会議)」が「第二原水協」として結成されました。筆頭顧問には吉田茂をおき、代表委員に岸信介(核密約を結んだ張本人)、鍋山貞親らの核武装推進論者や反共主義者らが名をつられます。原水爆禁止運動の国民的運動を分裂させ、国民の目を日本の核武装(在日米軍基地の核兵器配備)の現実から故意にそらし、運動の弱体化をはかる役割をはたします。大阪においても大阪原水協の民主的な運営、真摯な討論が保障されない状況(詳細は別稿)のなか

する運動として、全国で「網の目行進」に重点をおいてとりくまれました。6月22日、沖繩から原水爆禁止国民平和行進が出発、大阪府下は、7月27日7コースに分かれて「網の目行進」の平和行進でした。

(7月27日)「兵庫↓池田↓大阪コース」

池田市役所で兵庫から引き継ぎ宿泊。池田市役所前出発↓石橋↓豊中市役所前↓東淀川区役所前(高槻コースと合流) ↓大阪市内中

郵↓渡辺橋↓中之島(7月27日)

「河内長野コース」

河内長野市役所前出発↓富田林市役所↓羽曳野市役所↓松原市役所(宿泊)。松原市役所前出発↓矢田部↓上六↓中之島(7月26日)

「和歌山↓泉州↓大阪コース」

岬公園で和歌山と合流↓樽井で和歌山から引き継ぎ(宿泊)。樽井↓泉佐野市役所前↓貝塚市役所前↓